

News Release

2022. 7. 29

阪急阪神ホールディングス株式会社

グループ経営企画室 広報部

〒530-0012

大阪市北区芝田一丁目16番1号

Tel:06-6373-5092 Fax:06-6373-5670

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>



ESG 投資の主要指標である 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の 構成銘柄に初めて選定されました

～GPIF が採用するその他3つのESG 投資指数にも継続選定～

阪急阪神ホールディングスは、今般、業種内でESG（環境・社会・企業統治）の評価が高い日本企業により構成される投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に初めて選定されました。なお、本指数は、世界最大規模の年金基金であり、ESG投資を積極的に推進している年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が、ESG投資を行う際に、新しいベンチマークとして採用しています。

また、当社は、同じくGPIFが使用しているESG投資指数「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄にも継続して選定されるとともに、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の銘柄選定のベースとなるMSCI社のESG格付においても、前回に引き続き最上位ランクのAAAを取得しました。

当社グループでは、「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」に基づき、ESGに関するさまざまな取組を推し進めています。具体的には、サステナブル経営の重要テーマとして「環境保全の推進」や「一人ひとりの活躍」などを掲げており、カーボンニュートラルに向け温室効果ガスの排出量の削減や環境配慮型建物（グリーンビルディング）の拡大、また従業員がいきいきと活躍できるようダイバーシティや健康経営の推進などに取り組んでいます。

今後も、事業を通じてさまざまな社会課題の解決に努め、企業価値の向上、ひいては持続可能な社会の実現を目指してまいります。



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

<銘柄に選定された投資指数の概要とロゴマーク>

■FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

グローバルなインデックスプロバイダーである FTSE Russell の ESG 評価に基づいて、業種内で ESG の評価が高い日本企業により構成される指数。

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

(※)FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標)は、第三者調査の結果、阪急阪神ホールディングス株式会社が、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index への組入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。

グローバルなインデックスプロバイダーである FTSE Russell が策定した FTSE Blossom Japan Sector Relative Index は、ESG (環境・社会・企業統治) に関して優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資を行うファンドなど、さまざまな金融商品の開発・評価に広く利用されています。

■MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数

米国の大手金融サービス企業である MSCI 社の ESG 評価 (最上位ランクの AAA から最下位ランクの CCC までの 7 段階) に基づいて、業種内で ESG の評価が相対的に高い日本企業により構成される指数。

<https://www.msci.com/msci-japan-esg-select-leaders-index-jp>

**2022 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESG セレクト・リーダーズ指数**

■MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)

MSCI 社が、女性の雇用・昇進などに関するデータやダイバーシティの取組に関する開示情報をベースに、性別多様性の観点から算出したスコアに基づいて、業界をリードしている日本企業により構成される指数。

<https://www.msci.com/msci-japan-empowering-women-index-jp>

**2022 CONSTITUENT MSCI 日本株
女性活躍指数 (WIN)**

■S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスと東京証券取引所が共同開発したもので、東証株価指数の構成銘柄を対象に、業種内での炭素効率性 (温室効果ガス排出量/売上高) や環境に関する情報の開示状況の水準をもとに、評価 (指数) を決定している。

<https://www.spglobal.com/spdji/jp/indices/esg/sp-jpx-carbon-efficient-index/#overview>



<MSCI ESG 格付のロゴマーク>

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	---	----	-----

(※)阪急阪神ホールディングス株式会社の MSCI 指数への組入れや、MSCI のロゴ・商標・サービスマークや指数名の使用は、MSCI またはその関連会社による阪急阪神ホールディングス株式会社の後援・宣伝・販売促進には該当しません。MSCI 指数は MSCI の独占的財産です。MSCI 及び MSCI 指数の名称とロゴは、MSCI またはその関連会社の商標またはサービスマークです。

以 上

【添付資料】「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の概要

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の概要は次のとおりです。

①サステナビリティ宣言（基本方針）

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」「ひとづくり」を未来へつなぎ、地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、すべての人々が豊かさ喜びを実感でき、次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

②サステナブル経営の重要テーマ（マテリアリティ）と取組例

テーマ	取組方針
1 安全・安心の追求  具体的な取組の方向性 事故の撲滅と安全性の更なる向上、防災・減災に向けた取組の推進、災害発生時の適切な対応、安心で快適な施設・サービスの充実 など	取組方針 鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。
具体的な取組の方向性 事故の撲滅と安全性の更なる向上、防災・減災に向けた取組の推進、災害発生時の適切な対応、安心で快適な施設・サービスの充実 など	取組例 【バリアフリーへの取組】 ・グループの鉄道各社では、全てのお客様が駅や電車を快適にご利用できるよう、ハード・ソフト両面でのバリアフリー化を推し進めている。  「サービス介助士」資格の取得促進
2 豊かなまちづくり  具体的な取組の方向性 良質な住環境の整備、人の交流を生み出す商業・ビジネスエリアの整備・拡大、女性・子育て世代・高齢者・外国人のニーズに応えるサービスの提供、地域コミュニティ等との連携強化 など	取組方針 自然や文化と共に、人々がいきいきと集い・働き・住み続けたいまちづくりを進めます。
具体的な取組の方向性 良質な住環境の整備、人の交流を生み出す商業・ビジネスエリアの整備・拡大、女性・子育て世代・高齢者・外国人のニーズに応えるサービスの提供、地域コミュニティ等との連携強化 など	取組例 【阪急電鉄 西宮北口駅周辺のまちづくり】 ・2008年「阪急西宮ガーデンズ」を開業したほか、周辺に文化・教育施設を誘致し、エリアの価値向上に取り組んでいる。西宮北口は、関西の「住んでみたい街アンケート」において6年連続1位の評価を受けている。  阪急西宮ガーデンズ
3 未来へつながる暮らしの提案  具体的な取組の方向性 自然との調和・地域の活性化・多様な価値観の受け入れ、次世代の育成などにつながる商品・サービスの提案、スポーツやエンタテインメントを通じた文化の創造と普及、ICTイノベーションの促進 など	取組方針 未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。
具体的な取組の方向性 自然との調和・地域の活性化・多様な価値観の受け入れ、次世代の育成などにつながる商品・サービスの提案、スポーツやエンタテインメントを通じた文化の創造と普及、ICTイノベーションの促進 など	取組例 【阪急阪神のあんしんサービス「ミマモルメ」】 ・校門に設置したセンサーとICタグが連動して、子ども達の登下校の状況をご家庭等にアプリやメールでお知らせするサービス。この仕組みを活用して、高齢者を含めたまちの見守りサービス「まちなかミマモルメ」も展開している。  ランドセルに入れるICタグ
4 一人ひとりの活躍  具体的な取組の方向性 働きがいの向上・労働環境の整備、健康経営やダイバーシティの推進、人権の尊重・ハラスメントの防止、次世代の育成の機会の提供 など	取組方針 多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。
具体的な取組の方向性 働きがいの向上・労働環境の整備、健康経営やダイバーシティの推進、人権の尊重・ハラスメントの防止、次世代の育成の機会の提供 など	取組例 【健康宣言に基づきグループを挙げて取り組む健康経営】 ・当社グループとして19社が健康経営優良法人2022の認定を受けている。内訳は、大規模法人部門10社（うち3社はホワイト500）、中小企業法人部門9社。  健康経営優良法人 2022 Health and productivity ホワイト500
5 環境保全の推進  具体的な取組の方向性 温室効果ガスの排出量の削減、省エネの推進、再生可能エネルギーの活用、環境配慮型建物の拡大、廃棄物発生抑制・リサイクルの推進 など	取組方針 脱炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。 CO2排出量の削減率目標（対象範囲：当社及び子会社の国内事業所） 2030年度：2013年度比△46% 2050年度：実質ゼロ
具体的な取組の方向性 温室効果ガスの排出量の削減、省エネの推進、再生可能エネルギーの活用、環境配慮型建物の拡大、廃棄物発生抑制・リサイクルの推進 など	取組例 【環境配慮型建物に関する認証取得の推進】 ・環境・社会への配慮がなされた不動産に対して付与される認証の取得を推進している。（例：大阪梅田ツインタワーズ・サウスは「DBJ Green Building認証」で最高評価（5つ星）を取得）  DBJ Green Building 2021
6 ガバナンスの充実  具体的な取組の方向性 企業統治の実効性・透明性の向上、コンプライアンス・腐敗防止の徹底、気候変動リスクを含めたリスクマネジメントの強化、各ステークホルダーの意見を踏まえた事業遂行 など	取組方針 すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実に公正なガバナンスを徹底します。
具体的な取組の方向性 企業統治の実効性・透明性の向上、コンプライアンス・腐敗防止の徹底、気候変動リスクを含めたリスクマネジメントの強化、各ステークホルダーの意見を踏まえた事業遂行 など	取組例 ・2020年6月に、取締役会の監査機能をより強化し、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図ることを目的として、監査等委員会設置会社に移行している。 ・2022年3月に、「腐敗行為（贈収賄等）の防止に関する基本方針」を定め、その防止に取り組んでいる。

サステナビリティ宣言の詳細は、当社コーポレートサイトでご紹介しています。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/>